

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



「夢のブロック」を積み上げろ！



	0	1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60	平均点
国語	1	127	678	1412	1820	1510	477	1	33.4
社会	3	194	1112	1988	1706	847	176	0	28.5
数学	30	438	1026	1661	1979	753	92	2	27.3
理科	1	129	647	1418	1702	1474	652	3	34.0
英語	3	157	742	1310	1366	1317	1063	68	35.2

令和4年度大分県立高等学校入学者選抜学力検査(第一次)の分析結果が公表された。学力検査合計点の平均は、過去5年間の平均と比較しても最も高い。出題方針としては、「中学校における日常の学習とその成果をみる」「各教科とも知識及び技能とともに、思考力、判断力、表現力を十分みる」ことができるようにしているとのこと。さあ、3年生はこれまでの校内模試での得点を参考にして、**自分の現在地を把握**してみよう。1・2年生は、この結果の分布表であればどこにいたいと願い、そこから逆算して考えて「**自分は今何にどう頑張るべきか**」をイメージしていこう。そして、今から「**夢のブロック**」を積み上げていこう。

【学力検査合計平均点】

令和4年度	158.4点
令和3年度	157.5点
令和2年度	154.0点
平成31年度	150.5点

※各教科 60点、
合計 300点満点。

「**夢**」とは、「**将来成し遂げたい願い**」＝「**志**」だね。目指している学校に進み職業につくだけでなく、**その職業について何を成し遂げたいのか、それが最も重要なこと**となる。その「**志**」に向かって、人は「**夢のブロック**」を積み上げていくんだね。そうするとやっぱり、夢実現という高い所にブロックを積み上げるには、**一番下の段にブロックをいくつ敷き詰められるかが重要**だ。そのブロックの数の分だけ、がっちりと上に高く積み上げることができる。中学校時代とは、まさにこの「**夢のブロック**」を一番下の段に敷き詰めるとき。だから、やりたいこと・興味関心のあることにはどんどん挑戦してほしい。なぜなら、**やりたいこと・興味関心のあることは、自分の可能性のありか**を示しているから。苦手なこと・めんどくさいと思っていることから、絶対に逃げないでほしい。もしあいさつや掃除をめんどくさいと思っていたら、わざと大きく声を出してみよう。毎日15分間一生懸命に床を磨いてみよう。誰も拾わないゴミに気づいて、拾おうと、**自分を変えてみよう**。そうすれば間違いなく強力な「**夢のブロック**」を手に入れていくことになるよ。国語や社会の勉強だって、大切な敷き詰めておくべき1つのブロック。そして、学年が上がるにつれて、上に積み上げる「**夢のブロック**」をイメージして逆算し、**自分はいつ何をどれだけやればいいのか**を思考できるようになってもらいたい。そうすると、**今しかできないこと、今しか習得できないもの、今始めるべきこと**などがわかってくる。…**日々の学校生活の中には、敷き詰めたい大切な「夢のブロック」**はいくらでもちらばっている。感動、達成感、つまずき、…大切なことを気づかせてくれる出来事が待っている。自分を鍛えてくれ、変えてくれる体験が待っている。だから、みんなはこの一中に毎日通ってくるんだね。**「夢」は人生を切り拓く原動力**となる！そして、どんな「**夢**」を持つかによって、その人の「**生き方**」の方向性が決まる！

「志」を抱き、「夢のブロック」を積み上げろ！

3年間で身につけた力を持って、夢につながっていく道に挑む本番の勝負・高校入試で、例えば数学で0～9点だった人が468人(8.5%)いたこと。きっと3年間の中に、「あっ、いまのよくわからん」と思った瞬間、「最近数学の授業がわからなくなってるな～」とつまずきを感じた時期があったはず。もし、その瞬間に質問することができていたら、「今のもう一度説明して」とストップ発言できていたら…。そんな学校だったら…。だから、やっぱり**授業でつながってこそ本物の絆!**…なんだね。目指す道に向かって、どんな歩み方をしていくか！

